



LabelMark™

LABELING SOFTWARE

チュートリアル

チュートリアルは7つのテーマに分かれており、前レッスンで学んだ構築手法とプロセスを数多く取り扱っています。初心者の場合は、最初から最後まで順を追って操作してみる事が重要です。

各レッスンでは、タスクを完了する方法について段階を追った説明と、同一結果を得る複数の方法についても述べています。推奨メディアパート番号を大体のレッスンで表記してあります。最適な結果のため、ガイドラインに従って進めてください。

各レッスンの導入部では、学習する手法と機能の概要、ユーザーズマニュアルの特定レッスンテーマを指定している部分への相互参照を記述しています。

以下のレッスンがこのチュートリアルに含まれています。

レッスン 1	2行ラベルの作成とフォーマット	3
レッスン 2	イメージの追加とグラフィック作業	5
レッスン 3	ファイルの保存と読み込み	8
レッスン 4	データバインドオブジェクト	9
レッスン 5	バーコード	14
レッスン 6	シリアルライズの追加	16
レッスン 7	ジョブファイルの管理	22

レッスン1 2行ラベルの作成とフォーマット


本レッスンでは、簡単な2行ラベルの作成方法、フォーマット属性の追加、印刷前のプレビューについて説明します。本レッスンで使用する手法の詳細については、ユーザーズマニュアルの「操作の開始」セクション(9 ページ以降)と「ラベルのフォーマット」セクション(31 ページ以降)をご覧ください。

テキストの入力

1. [新規作成 / 開く] ダイアログボックスで、パート番号 **CPT-1.0** を選択します。

注

パート番号を簡単に見つけるには、「パート名から」のフィールド(パートリストの左側)で、「CPT」と入力します。このリストから「CRT」で始まるパート名にジャンプすることになります。

2. [操作] ツールバーで、[テキスト] ツール  をクリックし、最初のラベルの任意の部分をクリックします。
3. テキスト要素内の最初の行で、「HOT」を入力します。
4. [Enter] を押します。
5. テキスト要素内の2行目に、「WATER」を入力します。

テキストのフォーマット

1. テキストの最初の行をダブルクリックします(「HOT」の文字)。

右側の [プロパティ] で:

2. 「フォント」フィールドで、下矢印をクリックし、「Arial MT」を選択します。
3. 「フォントサイズ」フィールドで、下矢印をクリックし、「20」を選択します。
4. 「太字」をクリックします。

[テキスト要素] で:

5. テキストの2行目をダブルクリックします(「WATER」の文字)。

右側の [プロパティ] で:

6. 「フォント」フィールドで、下矢印をクリックし、「Arial」を選択します。
7. 「フォントサイズ」フィールドで、下矢印をクリックし、「16」を選択します。

[テキスト要素]で：

8. 「HOT」の文字の初めの部分にマウスを当て、「WATER」の文字の最後までドラッグします。

右側の [プロパティ] で：

9. 「横方向の行揃え」フィールドで、下矢印をクリックし、「中央」を選択します。

要素の移動

1. ラベルの任意の部分をクリックして、テキスト要素の外に移動します。
2. テキスト上にハンドルを置くには (オブジェクトの移動に必要な)、選択ツールを使用して、ラベル上のテキストをクリックします。

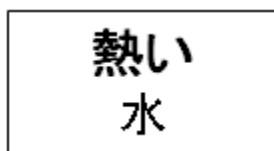
テキストの要素の周囲に 8 つのドットが表示されます。これを「ハンドル」と呼び、要素が選択されたことを示します。

3. テキスト上に直接マウスを置きます。(マウスは十字型に表示されます。)
4. テキストをラベルの右上にドラッグします。

要素を中央に置く

1. ラベルのテキストをクリックしてハンドルを表示します (表示されていない場合)。
2. メニューから、[フォーマット]>[中央 (縦) に揃える] を選択します。
3. メニューから、[フォーマット]>[中央 (横) に揃える] を選択します。

ラベルはこのようになります：



注

本レッスンの内容は、レッスン 2 でも使用しています。レッスン内容は消去しないでください。

レッスン2 イメージの追加とグラフィック作業



本レッスンでは、イメージの追加、グラフィックのサイズ変更と回転、およびフレーム（境界線）のラベルへの追加を行う方法について説明します。本レッスンで使用する手法の詳細については、ユーザーズマニュアルの「ラベルのフォーマット」セクション（31 ページ以降）をご覧ください。

注

本練習では、レッスン1で作成したラベルを使用します。レッスン1を終了してから続けてください。



イメージの追加

ヒント:このレッスンを実施するには、LabelMark 5.0プログラムに添付のグラフィックにアクセスする必要があります。変更をしていなければ、グラフィックはデフォルトのディレクトリにあります。[ツール]>[オプション]>[ファイルパス]を選択して、イメージファイルを格納するディレクトリを指定します。

1. [操作] ツールバーで、[イメージ] ツール  をクリックします。
2. テキスト (HOT) の1行目の左側にマウスを当てて、対角線上にドラッグしてボックス (ピクチャフレーム) を作成します。
3. [開く] ダイアログボックスで、左矢印をクリックします。
4. [開く]  または [ENTER] を押します。

コピー / サイズ変更 / 回転

矢印が大き過ぎる（または小さ過ぎる）場合、サイズを変更してテキストの1行目の高さに合わせます。

1. シンボルをクリックしてハンドルを表示します（表示されていない場合）。
2. 角のハンドル（緑）の一つにマウスを合わせて、対角線にドラッグして要素のサイズを変更します。（拡大する場合は外側にドラッグし、縮小する場合はシンボル方向にドラッグします。）
3. ハンドルをシンボルに表示したまま、[標準] ツールバーで [コピー]  をクリックした後、[貼り付け]  をクリックします。

コピーは元のシンボル上に置かれます。コピー上にハンドルを表示したままの状態です：

4. コピーの中央にマウスを当て、「HOT」の文字の右側までドラッグします。

再配置したコピー上にハンドルを表示したままの状態です：

5. [フォーマット] ツールバーで、[右に 90° 回転]  または [左に 90° 回転]  を 2 回クリックします。

コピーした矢印は、最初の矢印を反対の方向を向いている必要があります。

整列

1. 矢印の一つをクリックしてハンドルを表示します。
2. [CTRL] キーを押したまま、他の矢印をクリックします。
3. メニューから、[フォーマット]>[揃える]>[中]を選択します。

テキスト要素 (HOT WATER) を矢印の中間に正確に配置するには：



4. テキストをクリックしてテキスト要素にハンドルを表示します。
5. [CTRL] キーを押したまま、右または左向きの矢印を押してテキスト要素を徐々に移動します。

投げ縄ツール手法

ラベル上のラベル内容全体を中央に揃えるには：


1. カーソルを左矢印の左上（矢印の真上でなく）に置きます。
2. マウスを、「WATER」の文字の下から右矢印全体をカバーするまで右にドラッグします。

ラベル内容（矢印とテキスト）が点線の矩形で囲われます。マウスを放すと、要素がすべて選択されます（ハンドルが表示されます）。

3. [フォーマット] ツールバーで、[中央 (縦) に揃える]  ボタンをクリックします。
4. [フォーマット] ツールバーで、[中央 (横) に揃える]  ボタンをクリックします。

ラベルをフレームで囲う

境界線をラベル周囲に配置するには：

1. [操作] ツールバーで、[矩形] ツール  をクリックします。
2. ラベルの左上の角からマウスをドラッグして、ラベルの右下の角まで持って行きます。
3. 矩形のハンドルを表示したまま、右側の[プロパティ]ボックスで[ラインの太さ]フィールドをハイライトにします。
4. 0.1 を入力して [ENTER] を押します。

ラベルはこのようになります：





レッスン 3 ファイルの保存と読み込み

本レッスンでは、後に使用するためにラベルをファイルとして保存する方法について説明します。画面上のラベルを消去する方法と、保存した文書を開く方法についても説明します。本レッスンで使用する手法の詳細については、ユーザーズマニュアルの「ジョブファイル」セクション（97 ページ以降）をご覧ください。

注

本レッスンでは、レッスン 2 で作成したラベルを保存します。レッスン 2 を終了してから続けてください。



データの保存

1. [標準] ツールバーで、[保存]  をクリックします。
2. 名前を「WATER」と入力します。
3. [保存]  をクリックするか、[ENTER] を押します。

ファイルを閉じる

1. [ラベル] タブの [×] をクリックします。

ファイルを開く


1. [標準] ツールバーで、[開く]  をクリックします。
2. 「WATER」を選択します。
3. [開く]  をクリックするか、[ENTER] を押します。
4. ファイルを再度閉じて、画面を消去します。

レッスン4 データバインドオブジェクト

本レッスンでは、既存ラベルから新規ラベルを作成、ラベルのオブジェクトを複数のラベル間でリンク、およびラベルのパート番号をデータ作成後に変更する方法について学習します。「エラーおよび情報」ウィンドウで作業し、複数のラベルのデータを自動的に配置して適合する方法についても学習します。本レッスンで使用する手法の詳細については、ユーザズマニュアルの、「ラベルのフォーマット」の「コマンドマルチプライヤー」セクション (44 ページ以降) 「データバインドオブジェクト」セクション (73 ページ以降) 「ラベルエラーのチェック」セクション (81 ページ以降) をご覧ください。



本セクションでの作業を進める前に、使用する以外のデータをすべて消去してください。

ラベルの追加

1. [標準] ツールバーで、[新規]  をクリックします。
2. パート番号「LAT-10」を選択します。

注

パート番号を簡単に見つけるには、「パート名から」のフィールド (パートリストの左側) で、「LAT」と入力します。このリストから「LAT」で始まるパート名にジャンプすることになります。

3. 右下の角にある [クイックズーム]  を使用して 400% にズームインします。
1. 「ラベル 1」では、[操作] ツールバーで、[テキスト] ツール  をクリックし、「FLAMMABLE」の文字を入力します。
2. 「ラベル 2」では、[テキスト] ツールで、「TOXIC」の文字を入力します。
3. 「ラベル 3」では、「HAZARD」の文字を入力します。
4. 「ラベル 4」では、「WARNING」の文字を入力します。
5. [クイックズーム] を使用して 125% にズームアウトします。
6. 「ラベル 1」の文字をクリックします。(ハンドルが表示されます。)
7. [CTRL] キーを押したまま、「ラベル 2」、「ラベル 3」、「ラベル 4」の文字をクリックします。

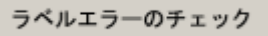
すべての文字にハンドルが表示されます。右側の [プロパティ] で：

8. 「フォント」を「Impact」に変更します。
9. 「フォントサイズ」を「16」に変更します。

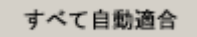
文字が赤字で表示され、ラベルに適合しないことを示しています。

エラーおよび情報ウィンドウ

作業スペースの下部の「エラーおよび情報」ウィンドウで：

1. [ラベルエラーのチェック]  ボタンをクリックします。

LabelMark は、エラーのあるラベルを表示します。

2. [すべて自動適合]  ボタンをクリックします。

すべてのラベルの文字のサイズが変更されて適合します。




3. 一つのラベルの文字をクリックします。


テキストのフォントサイズはいくつでしょうか？（ヒント：右側の [プロパティ] を参照してください。） _____

4. 任意の場所をクリックしてハンドルを削除します。

ラベルパートの変更

ラベルを作成した後に別のパート番号を使用するには：

1. メニューから、[編集]>[ラベルパートの変更]を選択します。
2. パート番号「DAT-4」を選択します。
3. ラベルに再度エラーが発生する場合、「エラーおよび情報」ウィンドウのボタンを使用して適合するように修正します。
4. 「ラベル 1」、「ラベル 2」、「ラベル 3」、「ラベル 4」の文字を再度選択します。
5. [フォーマット] ツールバーで、[中央(縦)に揃える]  および [中央(横)に揃える]  ボタンをクリックします。
6. 「ラベル 5」では、「NO SMOKING」の文字を入力します。
7. [操作] ツールバーで、[イメージ] ツール  を選択し、ラベルの左側にイメージフレームを描画します。
8. グラフィックのリストから、「No Smoking」のグラフィックを選択します。

9. [イメージ] ツールを選択し、ラベルの右側にイメージフレームを描画します。
10. グラフィックのリストから、「Fire」のシンボルを選択します。
11. イメージのサイズを変更してテキストに重ならないようにします。
12. ラベル上の要素3点すべてを選択します。（[CTRL+Click] か、投げ縄手法を使用します。）
13. [フォーマット] ツールバーで、[オブジェクトを縦にセンタリング]  ボタンをクリックします。
14. 要素を選択した状態で、メニューから、[フォーマット]>[中央（縦）に揃える]>[中央（横）に揃える]を選択します。

ラベル5はこのようになります：



コマンドマルチプライヤー

1. [CTRL+CLICK] を使用して、ラベル5上にイメージ要素2点を選択します。（テキスト要素を選択しないでください。）
2. メニューから、[編集]>[コマンドマルチプライヤー]を選択します。
3. [オブジェクトのコピー] をクリックします。
4. 「適用」フィールドで、下矢印をクリックし、「カスタムリスト」を選択します。
5. 「カスタムリスト」の入力用ボックスで、1、3、4を入力します（数字の間のカンマを必ず入力してください）。
6. [OK] をクリックします。
7. テキストがイメージに重なるラベルは、フォントサイズを調整します。

ヒント：変更する特定のラベルの文字をダブルクリックし、特定のテキスト要素に対する新規フォントサイズを入力します。

既存ラベルから新規ラベルを作成

1. ラベル 2 上で[イメージ]ツールを使用し、テキスト要素の左側にフレームを描画します。
2. グラフィックのリストから、「toxic」のシンボルを選択します。
3. テキスト要素をラベルの右側に移動します。
4. 「フォントサイズ」を「24」に変更します。
5. テキストが適合しない場合は、「エラーおよび情報」ウィンドウを使用してテキストがラベルに自動的に適合するようにします。
6. ラベル上の両方の要素を選択します。
7. メニューから、[フォーマット]>[揃える]>[中]を選択します。
8. [フォーマット]ツールバーで、[中央(縦)に揃える]および[中央(横)に揃える]をクリックします。

ラベル 2 はこのようになります：



9. ラベル 2 を選択します (ラベル 2 上の要素ではありません)。
10. メニューから、[編集]>[ラベルを新しいラベルにコピー]を選択します
11. ラベル 1 を選択します (ラベル 1 上の要素ではありません)。
12. メニューから、[編集]>[コマンドマルチプライヤー]を選択します。
13. [ラベルをコピー]をクリックします (選択されていない場合)。
14. 「適用」フィールドで、[すべてのラベル]を選択します (選択されていない場合)。
15. 「開始するラベル番号」フィールドに「7」を入力します。
16. [繰り返しの回数]フィールドに「4」を入力します。

どのラベル番号にデータが適用されるのでしょうか？ _____

17. [OK] をクリックします。

リンクオブジェクト



1. 「ラベル 8」 をクリックします。
2. 「smoking prohibited」 のシンボルをラベルの左上の角に移動します。
3. 「Fire」 のシンボルをラベルの右下の角に移動します。

このラベルにリンクした（ コマンドマルチプライヤーによる ） 全てのラベル上のジメージが同一位置に移動する様子に注意してください。


ラベル 8 はこのようになります：



印刷プレビュー



1. [標準] ツールバーで、[印刷プレビュー]  をクリックします。
2. プレビューが終了したら、[閉じる]  をクリックします。

リンクオブジェクト付きのラベルを削除

1. 「ラベル 2」 と 「ラベル 3」 を選択します（ 「Toxic」 のラベル）。
2. [標準] ツールバーで、[削除]  をクリックまたは [DELETE] を押します。
3. [はい] をクリックします。

何点ラベルが残りましたか？ _____





ファイルの保存

1. [標準] ツールバーで、[保存]  をクリックします。
2. 名前を 「Warnings」 と入力します。
3. [保存]  をクリックするか、[ENTER] を押します。
4. ラベルタブの [×] をクリックして文書を閉じます。



レッスン5 バーコード

本レッスンでは、バーコードの追加と編集を行う方法について説明します。本レッスンで使用する手法の詳細については、ユーザーズマニュアルの「ラベルのフォーマット」の「バーコード要素」セクション（69 ページ以降）をご覧ください。

バーコードのセットアップ

1. [標準] ツールバーで、[新規]  をクリックします。
2. パート番号「CPT-2.5」を選択します。
3. [操作] ツールバーで、[バーコード] ツール  をクリックし、ラベル1上にバーコードフレームを描画します。
4. [プロパティ] ボックスの [値] フィールドで、「Y123456」を入力します。
5. 「フォント」を「Letter Gothic MT」に変更します。
6. 「フォントサイズ」を「16」に変更します。
7. [プロパティ] ボックスの [高さ] フィールドで、「0.75」を入力します。
バーコードが大きくなる様子に注意ください。
8. ラベル上のバーコード要素をクリックしてハンドルを表示します。
9. バーコードをラベルの上部中央に移動します。
10. [テキスト]  ツールを使用して、バーコードの下に「Y123456 - Tool Kit」の文字を入力します。
11. テキストの「フォント」を「Arial MT」に変更します。
12. テキストの「フォントサイズ」を「16」に変更します。
13. バーコード要素をクリックします。
14. 「バーコードのプロパティ」ボックスの「テキストの位置」フィールドで、下矢印をクリックし、[なし]を選択します。
15. バーコードとテキスト要素を両方とも選択します。
16. [フォーマット] ツールバーで、[テキストを左に揃える]  ボタンをクリックします。


テキストの編集

1. テキスト要素をダブルクリックして入力行にアクセスします。
2. 「Tool」の文字のすぐ左でマウスをクリックします。
3. [BACKSPACE] を3回押して点線とスペースを削除します。
4. 「Tool」の文字のすぐ左にカーソルを置き、[ENTER] を押します。
5. テキストの両方の行をハイライトにします。
6. [フォーマット] ツールバーで、「揃える」  ツール上の下矢印をクリックして、「中央」を選択します。
7. バーコード要素とテキスト要素を選択します。
8. [フォーマット] ツールバーで、[テキストを中央に]  ボタンをクリックします。


ラベルはこのようになります：




コピー数

1. [ラベルコピー]のトグルボタンがラベルの傍に表示されない場合、メニューから、[表示]>[ラベルコピー]を選択します。
2. [ラベルコピー]のトグルボタン  の上矢印をクリックしてコピー数を「4」に変更します。

ラベルの印刷

1. [標準] ツールバーで、[印刷]  ボタンをクリックします。


何点ラベルが印刷されますか？（ヒント：印刷ダイアログボックスの「合計ラベル数」フィールドを参照してください。） _____

2. [印刷]  をクリックするか、[ENTER] を押します。
3. 印刷を開始したら、ラベルを閉じ、変更を保存しないでください。

レッスン 6 シリアライズの追加

本レッスンでは、ラベルへのシリアライズの適用、シーケンス番号の再定義、保存済みシリアライズスキームの追加の方法について説明します。本レッスンで使用する手法の詳細については、ユーザーズマニュアルの「シリアライズ」セクション（87 ページ以降）と「ラベルのフォーマット」の「データバインドオブジェクト」セクション（73 ページ以降）をご覧ください。

シンプルなシリアライズ

1. [標準] ツールバーで、[新規]  をクリックします。
2. パート番号「DAT-100」を選択します。
3. [クイックズーム] を使用して 400% にズームインします。
4. ラベル 1 を選択します。
5. メニューから、[挿入] > [シリアライズされたデータ] を選択します。
6. 「最小のオプションを使ってクイックシリアライズを行います。」のラジオボタンをクリックした後（選択されていない場合）、[次へ] をクリックします。
7. 「シーケンスの種類:」フィールドで、下矢印をクリックし、「数字」を選択します（選択されていない場合）。
8. 「開始」フィールドに「1」を入力します。
9. 「終了」フィールドに「25」を入力します。
10. 「ステップ」フィールドで、トグルボタンの下矢印をクリックし、「4」を選択します。
11. [プレフィックス] をクリックした後、入力用ボックスに「Port」の文字を入力します。
12. [終了] をクリックします。
13. [クイックズーム] を使用して 125% にズームアウトします。何点のラベルにデータがありますか？ _____

ラベルはこのようになります：

ポート1	ポート5	ポート9	ポート13	ポート17	ポート21	ポート25
------	------	------	-------	-------	-------	-------

シンプルなシリアライズの削除

1. [CTRL+SHIFT+A] を押してすべてのラベル上にデータを選択します。
2. [削除]  をクリックするか、[DELETE] を押した後 [はい] をクリックします。

複雑なシリアライズ

1. 「ラベル 1」 をクリックします。
2. メニューから、[挿入]>[シリアライズされたデータ] を選択します。
3. 「詳細設定オプションを使用してデータをシリアライズします。」のラジオボタンをクリックした後、[次へ] を 2 回クリックします。
4. 「オブジェクト種類の選択」の画面上で、[テキスト]のラジオボタンをクリックした後（選択されていない場合）、[次へ] をクリックします。
5. 「コンポーネントの数を設定する」の画面上で、[2 つのカウンタ]のラジオボタンをクリックした後、[次へ] をクリックします。
6. 最初のコンポーネント文字列設定画面で、[シーケンスの種類]を[数字]に設定します。
7. [開始]の値を「1」、[終了]の値を「10」、[ステップ]の値を「4」に設定します。
8. 「優先順位」フィールドで、トグルボタンの上矢印をクリックし、「1」を表示します。
9. [次へ] をクリックします。
10. 二番目のコンポーネント文字列設定画面で、[シーケンスの種類]を[アルファベット]に設定します。
11. [開始]の値を「A」、[終了]の値を「D」、[ステップ]の値を「3」に設定します。
12. 「優先順位」が「0」のままで [次へ] をクリックします。
13. 「複合文字列のレビュー」画面上の「ラベルの数」フィールドで、「10」を入力します。
「データプレビュー」フィールドを参照して、シリアライズを適用する方法を指定します。
14. 「複合文字列のレビュー」の画面のままで、画面の上部にある表/グリッドの[アルファベット]の行をクリックします。
15. [上] をクリックして [アルファベット] の行を一番上に移動します。
「データプレビュー」フィールドを参照して、シリアライズの変更内容を表示します。
16. [次へ] を 2 回クリックします。

17. 「シリアライズスキームの保存」の画面で、[はい]をクリックします。

18. 「ファイル名」フィールドで、ファイル名を「Alpha」と入力します。

19. [終了]をクリックします。

何点のラベルにデータがありますか? _____

ラベルはこのようになります：

A1	D5	C9	B3	A7	D1	C5	B9	A3	D7
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

データバインドオブジェクト

1. シリアライズデータの「ラベル 1」をクリックします。

2. このデータをラベルの右下の角にドラッグします。

すべてのラベル上でデータが別の場所に移動する様子に注意してください。

3. 「ラベル 1」をクリックして選択します。（要素の「ラベル 1」をクリックしないでください。）

4. メニューから、[挿入]>[日付と時間データ]を選択します。

5. 「事前定義された書式を使用」フィールドで、下矢印をクリックし、曜日と日付を示す書式を選択します。（例：Friday, August 14, 2009）

6. 「繰り返しの回数」フィールドに「10」を入力します。

7. [OK]をクリックします。

8. 右下の角にある [クイックズーム] を使用して日付にズームインします。

ラベルはこのようになります：

金曜日, 8月 14, 2009	金曜日, 8月 14, 2009	金曜日, 8月 14, 2009	金曜日, 8月 14, 2009	金曜日, 8月 14, 2009	金曜日, 8月 14, 2009	金曜日, 8月 14, 2009	金曜日, 8月 14, 2009	金曜日, 8月 14, 2009	金曜日, 8月 14, 2009
A1	D5	C9	B3	A7	D1	C5	B9	A3	D7

データバインドオブジェクトの編集

1. 「ラベル 1」 上のシリアライズデータをクリックします (A1)。
2. 右側の [プロパティ] ボックスで、[データバインドオブジェクトの編集] **データバインドオブジェクトの編集** ボタンをクリックします。
3. [戻る] **戻る(B)** ボタンを 2 回クリックし、最初のコンポーネント画面に戻ります。
4. 「シーケンスの種類」 フィールドで、下矢印をクリックし、「カスタム」 を選択します。
5. 「カスタムテキスト :」 フィールドに「WHITE」 を入力します。
6. [開始] の値を「W」、[終了] の値を「E」、[ステップ] の値を「1」 に変更します。
7. [終了] をクリックします。

ラベルはこのようになります：

全曜日, 8月 14, 2009	全曜日, 8月 14, 2009	全曜日, 8月 14, 2009	全曜日, 8月 14, 2009	全曜日, 8月 14, 2009	全曜日, 8月 14, 2009	全曜日, 8月 14, 2009	全曜日, 8月 14, 2009	全曜日, 8月 14, 2009	全曜日, 8月 14, 2009
W1	H5	I9	T3	E7	W1	H5	I9	T3	E7

スキームの使用

1. 「ラベル 11」 をクリックします。
2. メニューから、[挿入]>[シリアライズされたデータ] を選択します。
3. 「以下から保存されたシリアライズスキームを 1 つ使用します」 のラジオボタンをクリックします。
4. 「Alpha. lms」 をクリックします (以前保存したスキーム)。
5. [終了] をクリックします。
6. 「ラベル 11」 上で、シリアライズされたデータをラベルの下側中央に移動します。
7. 「ラベル 10」 上で、データ要素をクリックします。
8. [プロパティ] ボックスで、[データバインドオブジェクトの編集] **データバインドオブジェクトの編集** ボタンをクリックします。
9. 「繰り返しの回数」 を「20」 に変更します。
10. [OK] をクリックします。
11. 「ラベル 10」 上で、シリアライズされたデータをクリックします。

12. [プロパティ] ボックスの「回転」フィールドに「90」を入力します。

13. 「ラベル 10」上で、日付をクリックします。

14. [プロパティ] ボックスの「回転」フィールドに「270」を入力します。

すべてのラベル上で日付が変更されますが（すべてリンクされているため）、シリアライズされたデータは最初のラベル10点だけが変更される様子に注意してください。「ラベル 11」から「ラベル 20」に表示されるシリアライズされたデータは別のリンクです。

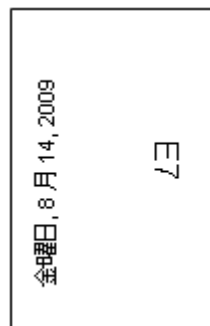
15. 「エラーおよび情報」ウィンドウを使用して適合するように修正します。

16. 日付を「ラベル 10」の左側に移動します。


17. シリアライズされたデータを「ラベル 10」の右側に移動します。

18. 「ラベル 10」上で日付要素とシリアライズされたデータの要素両方を選択した後、メニューから、[フォーマット]>[揃える]>[中]を選択します。

「ラベル 10」はこのようになります：

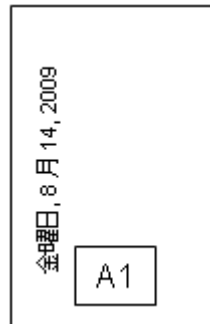


コマンドマルチプライヤー



1. 「ラベル 11」をクリックします。
2. [操作] ツールバーで、[矩形] ツール  をクリックし、シリアライズされたデータの周囲にボックスを描画します。
3. 描画した矩形をクリックしてハンドルを表示します（ハンドルが表示されていない場合）。
4. メニューから、[編集]>[コマンドマルチプライヤー]を選択します。
5. [オブジェクトのコピー]をクリックします。
6. 「開始するラベル番号」フィールドに「12」を入力します。
7. 「繰り返しの回数」フィールドに「9」を入力します。

8. [OK] をクリックします。


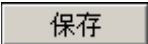
「ラベル 11」 はこのようになります：



ラベルのプレビュー

1. [印刷プレビュー]  をクリックします。
2. プレビューが終了したら、[閉じる]  をクリックします。


ファイルの保存

1. [保存]  をクリックします。
2. 名前を「Double serial」と入力します。
3. [保存]  をクリックするか、[ENTER] を押します。
4. ファイルを閉じます。

レッスン7 ジョブファイルの管理


ジョブファイルは、関連するラベルファイルのコレクションです。ジョブファイルの作成は、共通に使用されるラベルファイルをグループ化したり、一つの主要文書に格納したりする方法です。ジョブファイル内の個別のファイルを別のプリンターに出力し、特定のラベルメディアやリボン色を使用する専用のプリンターを使用できるようになるため、大量印刷または繰り返し印刷をする場合に時間効率が良くなります。本レッスンで使用する手法の詳細については、ユーザーズマニュアルの「ジョブファイル」セクション（103 ページ以降）をご覧ください。

ジョブファイルの作成

1. [標準] ツールバーで、[新規]  をクリックします。
2. [新規作成/開く] ダイアログボックス上で、「新規ジョブファイルを作成」のラジオボタンをクリックします。
3. [OK] をクリックします。

ラベルファイルをジョブファイルに追加

ラベルファイルをジョブファイルに追加するには、

1. [ラベルファイルの追加]  **ラベルファイルの追加** ボタンをクリックします。

以前のレッスンでファイルを保存したディレクトリが出ない場合は、標準的な Windows の参照手順を使用してディレクトリを見つけます。


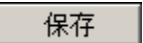
2. [開く] ダイアログボックスで、「Double Serial」、「Water」、「Warnings」を選択します。

注


[Ctrl+Click] を使用して複数のラベルを一度に選択します。

3. [開く]  をクリックするか、[ENTER] を押します。

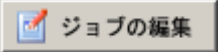
ジョブファイルの保存

1. [保存]  をクリックします。
2. 「ファイル名」フィールドで、ファイル名を「Special Applications」と入力します。
3. [保存]  をクリックするか、[ENTER] を押します。

ジョブファイルの印刷

1. ラベルファイルの「Water」をクリックします。
2. 選択した「プリンター」のフィールドで、ドロップダウン矢印をクリックし、プリンターを選択します。
3. [印刷]  をクリックします。
4. ラベル名タブの [×] をクリックしてジョブファイルを閉じます。
5. 確認用ボックスの [はい] をクリックしてファイルを保存します。

ジョブファイルを開く

1. メニューから、[ツール]>[ジョブの管理]を選択します。
2. 左側のディレクトリツリーで、使用するファイルが格納されているディレクトリ名をクリックします（ファイルが表示されていない場合）。
3. ジョブファイルの「Special Applications」をクリックします。
4. [ジョブの編集]  をクリックします。



選択したジョブファイルは、作業スペース内にタブ付きのウィンドウ要素として表示されます。

詳細項目の追加

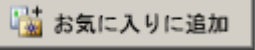
詳細項目は、「ジョブファイル」内のラベルファイルごとに追加して識別を容易にするための特定コメントや手順などです。

1. 「Special Applications」のジョブファイルを開いた状態で、[詳細]タブをクリックします。
2. 「説明」フィールドでマウスをクリックし、「連続ラベルまたは打ち抜きラベルに印刷可能。」を入力します。

ジョブファイルからラベルファイルを削除

1. 開いた「ジョブファイル」の [ジョブ] タブをクリックします。
2. ラベルファイルの「Double Serial.lsf」をクリックします。
3. [削除]  ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックして削除を確認します。
4. 「ジョブファイル」を更新するには、[保存]  をクリックします。
5. 「Special Applications」用の文書タブの [×] をクリックします。

お気に入りに追加

1. [ジョブの管理] の文書タブをクリックします（有効でない場合）。
2. ジョブファイルのリストで、「**Special Applications.lmj**」をクリックします。
3. [お気に入りに追加]  をクリックした後、[OK] ボタンをクリックして確認します。
4. [ジョブの管理] の文書タブの [×] をクリックして「ジョブファイル」を閉じます。

お気に入りにアクセス

「お気に入りのジョブファイル」を開くには：

1. メニューから、[ツール]>[ジョブの管理] を選択します。
2. 「ジョブの管理」文書の「お気に入り」のタブをクリックします。
3. 「**Special Applications**」をクリックした後、[ジョブの編集] をクリックします。

ジョブファイルを閉じる

1. 「**Special Applications**」用の文書タブの [×] をクリックしてファイルを閉じます。
2. [ジョブの管理] の文書タブの [×] をクリックして「ジョブファイル」を閉じます。